

令和3年度 番組審議委員会 議事録

㈱飯田ケーブルテレビ

■開催日時 2021年10月28日 11:00～13:00

■開催場所 飯田ケーブルテレビ本社
かわ清（食事）

■出席者 審議委員 伊坪 薫（元行政職員）
岩井美季（児童施設職員）
生嶋恵子（自営業）
勝野芳美（専業主婦）
仲川正博（会社役員）
(欠席1名)

代 表 原 勉（代表取締役社長）

事務局 吉川治司（常務取締役）
平沢 徹（編成部長）

■内容

1、開会

2、挨拶（原社長、伊坪委員長）

3、議事（進行は伊坪委員長）

- (1) 審議委員自己紹介
- (2) 業務現状報告（吉川）
- (3) 放送実績報告（平澤）
- (4) 質疑応答

(主な質疑)

- ・美博の講座が2画面で放送されているので講師の表情もわかりやすく見やすい。
- ・飯田イングリッシュタイムも回を重ねるごとに内容が良くなった。子供たち向けにありがたい番組だ。

- ・コロナ禍でいろいろな行事が中止になっている中、各公民館でニュースポーツの道具が揃ってきている。ルールや使い方を紹介する番組ができると、それに付随するケータリングや飲食の利用につながり、経済発展にもつながる。また新しい人との繋がりもできそう。
- ・大鹿村ほか他町村の番組が視られることが仕事上でも参考になっている。その場所へ行かなくても情報が得られるメリット。今後も飯田市だけにとらわれなく、常に新しい文化の発信を希望する。
- ・橋北地区も老人が増え、ボッチャ、囲碁ボールなどのレクリエーションが行われている。ルール説明や楽しさを紹介してもらえると参加者増加にもつながる。公民館活動の紹介もお願いしたい。
- ・春草 110 周年を大きく取り上げてくれたことに感謝。
- ・「今日の 5 分」はそのままの地区を視ることができる。
- ・竜東・遠山の番組に比べて、旧市内の地区番組が少ない。
 - 今後様々なやり方で取り上げていきたい
- ・伊那谷文化芸術祭がコロナにより通常の開催ができず、録画放送を企画したが、誰もが視られるわけではないという問題があった。
- ・学校教育や企業内の IT 化に対して、ICT 指導や人材派遣などでケーブルテレビの役割が求められると思われる。
 - 学校教育におけるタブレット配布には NET 回線のネットワークが必要となり、ケーブルテレビの回線が多く利用されている。指導やサポートには飯田ケーブルとコアカレッジなどが共同で当たる提案をしている、またそれがデジタルコミュニティの構想につながると考えている。
- ・YouTube 等の動画配信とどのように融合していくかも課題。
- ・買い物支援について先進地の視察をし行政への提案もしているが、なかなか進まない。ケーブルテレビとして福祉行政などへ対応する新しいサービスを期待する。

以上